

## 肺炎球菌ワクチン 肺炎は、高齢者に危険な病気 肺炎は抗生物質などの

薬の進歩と医療技術の向上により、かなりよく治療できるようになりました。しかし、抗生物質が効きにくい菌が増えていることもあり、高齢者の方にとっては、肺炎はいまだに怖い病気です。

特に**心臓や呼吸器に慢性疾患のある方、腎不全、肝機能障害、糖尿病のある方**などでは、肺炎などの感染症にかかりやすく、病状も重くなる傾向があります。

また、急速に症状が進んだ場合、抗生物質などによる治療が間に合わないこともあり、危険です。

**肺炎球菌が引き起こす病気を予防** **肺炎球菌ワクチン**とは、肺炎球菌によって引き起こされるいろいろな病気(感染症)を予防するためのワクチンです。従って、肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌以外の原因による病気(感染症)に対しては残念ながら予防効果はありません。肺炎球菌には80種類以上の型があって、肺炎球菌ワクチンを接種しておけば、そのうちで感染する機会の多い23種類の型に対して免疫をつけることができます。これらの23種類の型で、すべての肺炎球菌による感染症の80%を予防できます。

1回の接種で23の型ほとんどに対し、有効な免疫ができます。この免疫は5年以上の長い間持続します。なお、2回目の接種をすると反応が強くなるので日本では再接種は認可されていません。**次のような方に、ワクチン接種をおすすめします**



**接種期間:**一年を通して(インフルエンザなどのワクチン接種時期から1週間以上あける必要があります。)

**接種対象者:**65歳以上のかた あるいは2歳以上64歳以下のかたで 慢性心疾患、慢性肺疾患、糖尿病、腎不全などの病気のあるかた

**接種回数:**一生に一度のみ

**料金:**7500円 (保険は適応されません)

**ご希望の場合にはスタッフに申し出てください。**